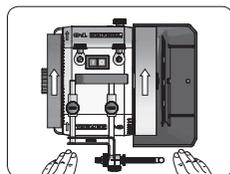


マルチベース MB-100

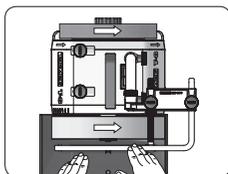


- MB-100を使ってダイヤモンド砥石の側面で砥ぐと平らに仕上げることができます。
- ナイフ、斧、ターニングツール、のみ、カービングガウジ、鉋刃などを研ぐ場合にトルメックの治具と一緒にお使いいただけます。
- ユニバーサルサポート用の垂直ベース・水平ベースのどちらでも使用できます。
- 自由に調整可能なのでどのツールにも合わせることができます。

本体の位置



MB-100をユニバーサルサポートの水平ベースに取り付けた場合



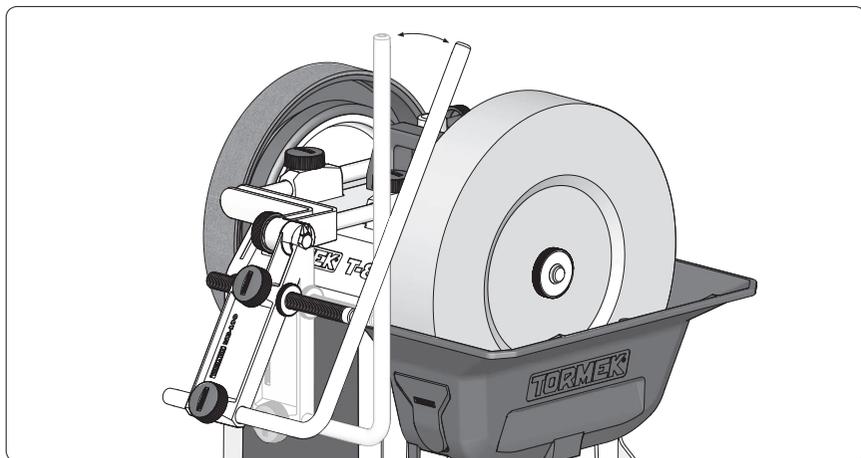
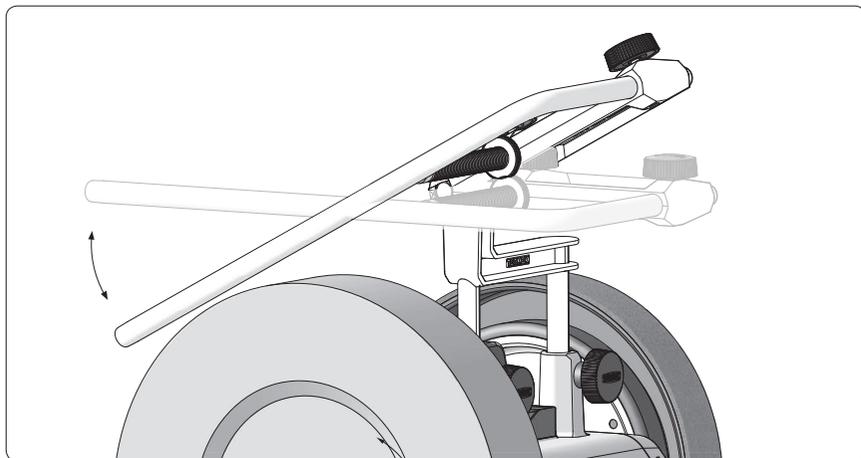
MB-100をユニバーサルサポートの垂直ベースに取り付けた場合

MB-100マルチベースを使用することによってトルメックダイヤモンド砥石側面での研磨が可能です。それにより完全に平らに作ることができます。MB-100には調整ラインがあり、それぞれの治具やツールに最適な研磨位置に調節することができます。垂直ベースまたは水平ベースに取り付け可能で便利です。

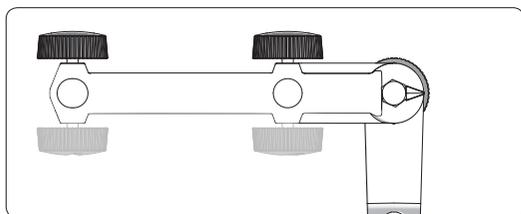
MB-100マルチベースと一緒に使用可能なトルメック治具：SVM-140包丁用治具、SVM-00スモールナイフホルダー、SVX-150鋏用治具、SVA-170斧用治具、SVS-38ショートツール用治具、SVD-186ガウジ用治具、SVS-50マルチ治具、SE-77平刃用治具、SVD-110ツールレスト。

注意 MB-100はトルメックのダイヤモンド砥石で砥ぐ場合のみ使用可能です。ダイヤモンド砥石以外では側面を使用することはできません。

研磨位置



垂直ベースと水平ベースのどちらの方向に取り付けても研磨位置を調整することができます。これだけでは角度設定はできません。

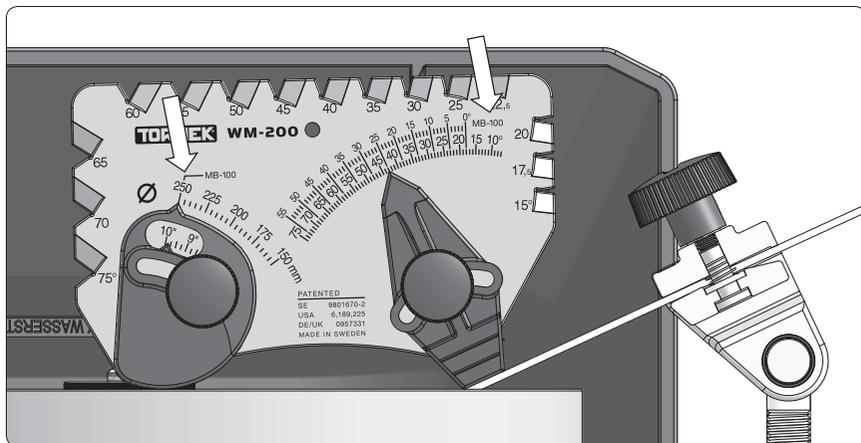


ロックがしやすいように用途に合わせて
ロックのノブを移動させてください。

刃先角度の設置

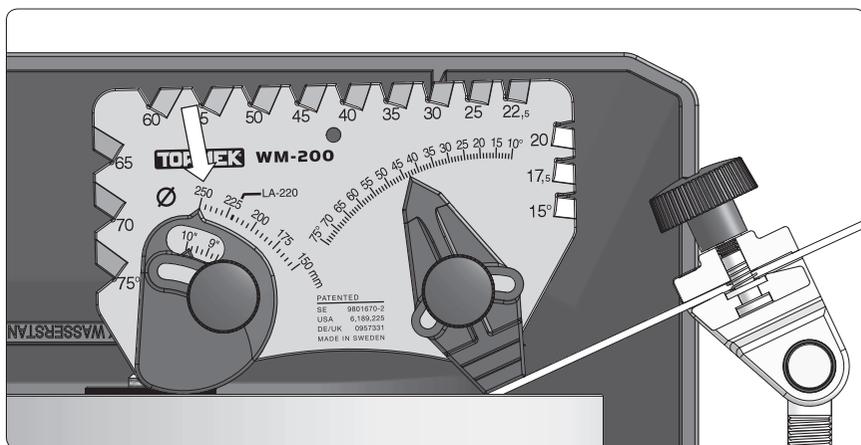
最新型のWM-200を使用して角度を設定する場合、角度設定器の上段のMB-100と記された目盛りを使用してください(1)。旧型のWM-200を使用して角度を設定する場合は調整したい角度に18°を足してください(2)。例) 鑿を25°に研ぎたい場合、合わせる目盛りはその数に18°を足して43°になります。MB-100を使用して砥ぐときは常に直径補正器の目盛りを250mmに設定してください。

1. 最新型のWM-200を使用する場合



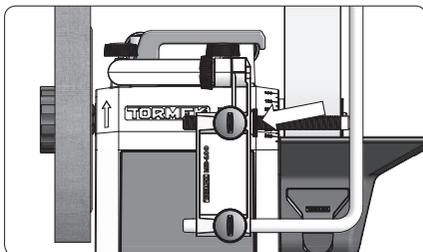
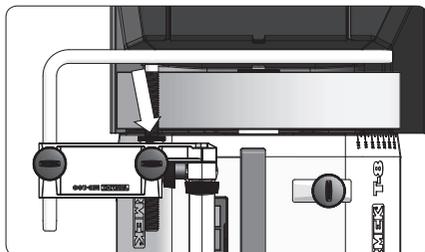
MB-100と記された上部の目盛りを使用してください。

2. 旧型のWM-200を使用する場合



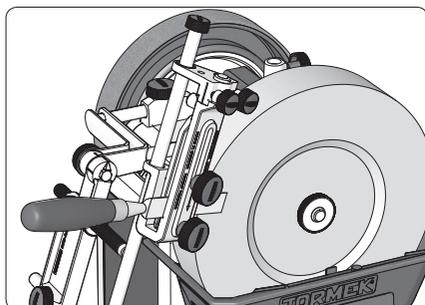
砥ぎたい角度に18°を足します。

マイクロアジャスト

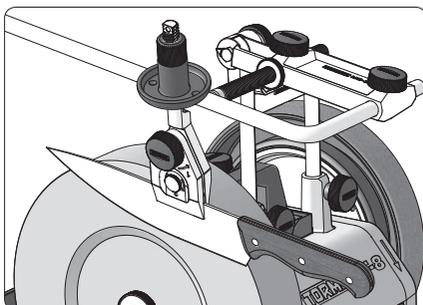


刃の角度はユニバーサルサポートのマイクロアジャストを使って設定します。MB-100のその他の設定は角度には影響しません。

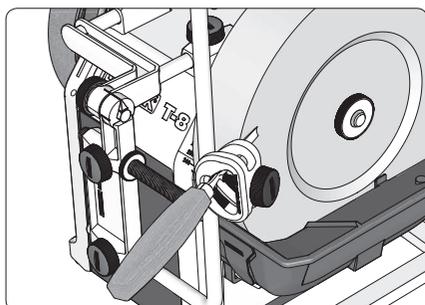
研ぎ



SE-77平刃用治具を使用して鑿を研ぐ例



SVM-45ナイフ用治具を使用して包丁を研ぐ例



SVS-38ショートツール用治具を使用してVツールを砥ぐ例

ヒント MB-100マルチベースを使用して砥ぐときはダイヤモンド砥石に近づいて作業した方が効率的です。砥ぐときは座って作業する必要がある場合は研磨機の高さを調整してみてください。